

神社名：御嶽神社 おんたけじんじゃ

住所：練馬区石神井町4-34-9

調査月日：2020年1月4日

調査参加者：栗田、菅野、木村、梅田、宮崎、小幡、浅見、竹内、小林、木村（怜）

写真：



由来など： 創立年代は不詳だが文化・文政年間（一八〇四～三〇）と推定される。その頃木曾御嶽講に入った石塚平左衛門〔天保六年（一八三五）歿〕が分霊を祀ったのが始まりと言われる。その後先達を務めた石塚忠明（天保一四年～大正一〇年）は、大正二年（一九一三）東京一山講社を組織し、御嶽登山五〇余回、講員は千八百余名に達した。中座の地位を与えられ一山忠明教会を創立した。

境内石造物はすべて明治以後のもの。明治十九年（一八八六）の一山霊神三十七年祭碑が最も古い。社殿は明治三九年（一九〇六）に本殿新築と拝殿の修補を行い（本殿基礎台石）、社殿改築は大正七～九年（一九一八～二〇）、大震災後の社殿再建は大正一三年（一九二四）に施工している（拝殿の額）。例祭には、戦前まで火渡りの行事が行われていた。

境内樹木はケヤキ、スダジィ、シラカシ、ムクロジが太幹である。（「練馬の神社」より）

祭神など：国常立命・大己貴命・少彦名命、國狭槌尊、豊斟淳尊、一山霊神

空間位置・面積等・植生など：住宅地の中にあり境内はそう広くはないが御嶽神社の社のほかに一山神社も祀られており・背後には溶岩を集めた御嶽が形づくられている。東側には保存樹木である大径のケヤキとムクロジがあり、鳥居のそばにはシラカシが生育している。南左側には石碑の小山がありヒサカキ、サカキの密集が見られる。全体にはまとまっており、このような社叢があっても良いのではと思われる。

地図上の位置：



平面図：

